

2/14 ヨハネの福音書 4章 1-30 節 「心の渇きをいやす永遠のいのち」

小池 宏明 牧師

今日の箇所、注目しておきたいのは、大きな二つの壁である。一つは、ユダヤ人とサマリア人との間にある、歴史的な差別という壁であり、もう一つは、サマリアの女性が抱えている問題が、まことの神礼拝を妨げ、人々との関係を悪くしていたという罪の壁である。

*歴史的、民族的な壁を越えて

当時、ユダヤ人とサマリア人との関係が、非常に悪かった。約400年間も敵対関係にあった。

ところが、今回、イエス様は400年もの断絶を、打ち破るかのように、サマリア人の女性に声をかけ、飲み水を求められた。弟子たちは、サマリアのスカルという町に昼ご飯を買いに行った。敵地で飲み食いすることは危険なことであったが、イエス様と弟子たちは、その壁に風穴を開けたのであった。

今でも、私たちの周りには人種、民族やジェンダーなどの壁がある。主イエス様が「あなたの敵を愛せよ」と語って、示された十字架の愛こそ必要なのである。

*神と隣り人との関係を壊す罪の壁を越えて

サマリアの女性が抱えていた問題に対して、イエス様は「永遠のいのちへの水」(14節)すなわち、魂を生かす聖霊を与えようとされる。そして自ら「キリスト」(25、26節)であることを証して、「わたしを信じなさい」(21節)と勧めた。こうして、聖霊と真理の御ことばによるまことの神様を礼拝する民を求めたのである。(23節)サマリア人の女性は、キリストであるイエス様に会って、変えられ、人々にイエス様のことを伝え始めた。

過去から現在、未来に至るまで、罪からの救いを与えて下さるキリストを受け入れるなら、神との関係、隣り人との関係を回復させることができるのである。

*私たちの周りにある壁を乗り越えよう

私たちの周りには、隔たり、障壁、壁は何だろうか？ 主なる神様と私との間に隔たりはないだろうか？ 偶像(魅力的な神々に依存する心)に囚われていないか？ もう一度、悔い改めて、方向転換して、主の御前に出て祈ろう。隣り人との間に、家族の中で、職場や学校やもしかしたら兄弟姉妹の中で、わだかまりの障壁はないだろうか？ 生ける水、永遠のいのちへの湧き水(聖霊)を与えて下さった、主イエス・キリストに解決を求めて祈ろう。